

湖の恵み守り隊

岩日タイムズ

発行者
岩瀬 日本大学
高等学校
新聞部
折山 彦
佐藤 孝哉

人と湖沼の共生を考える 世界湖沼会議小学生会議が開催

10月14日、つくば国際会議場において「第17回世界湖沼会議小学生会議」が開催されました。そこでは、県内外の小学生

から高校生まで多くの学生が集まり、人と湖沼の共生について話し合われました。小学生のグループでのディスカッションで



滋賀県の「ラムサールびわっこ大使」の小学生たち取材

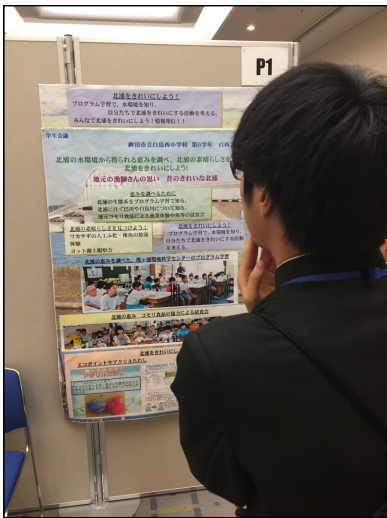


は「ラムサールびわっこ大使」の発言が一目置かれていました。6年生の佐藤綾乃さん、佐久間柚季さん、小林愛々さんの3人にインタビューしました。実は3人も別々の小学校で、自ら率先して作文を書いて応募し、県代表のびわっこ大使として選ばれました。

滋賀県では5年生になると、琵琶湖上に浮かぶ船に乗船し、一泊二日の校外研修

ポスターセッション 白西北浦守り隊

を行います。琵琶湖の水質や環境を学びながら、大自然を肌で感じる事ができます。また、湖でとれる旬の魚や、ブランチバスのフライ給食があるそうです。私の出身小学校ではそのような行事や給食がなく、とても羨ましく思いました。県内の校外活動も盛んで、カヌーに乗って琵琶湖を肌で感じる事ができるなど、充実した活動が盛りだくさんです。



小学生の発表に息を呑む

表を見学しました。家庭で洗剤の量を減らしてアクリルたわしを使用するなど、北浦の環境美化に取り組んでいる様子が理解できました。飯島聡哉さんから「北浦でとれたワカサギがおいしい、と教えてくれました。ポスターを一枚ずつめくりながらわかりやすい発表を心がけたといいます。3人の発表から、多くの人に北浦に関心を持ってもらいたいという気持ちがありました。伝わってきました。

編集後記

今回参加して、小学生の皆さんから湖の環境をもっと良くしたいという気持ちや、自分の住む地域を愛する思いがとても感じられました。ポスターセッションやディスカッションを聞き、子どもたちだけでは解決が難しい問題もあると思います。周囲の大人にも手を借りるなどして、世代を超えてさまざまなイベントを企画し、協力していくことが必要だと感じました。今回の発表もネットを利用して、もっと多くの人に見てもらいたいと思いました。(猿山)

顧問の時杉先生に勧められ、世界湖沼会議の小学生会議に参加しました。今まで湖や沼に興味を持つことはありませんでしたが、



つくば秀英高校の生徒とともに記念撮影